

里地里山を守る

手入れが行き届かず荒れていく里地里山を守るためには、管理の担い手を確保しつつ、土地利用の転換を防いでいくことが重要です。里地里山は「第一次産業の場」ですが、同時に「生物多様性保全・自然とのふれあいの場」でもあります。これからは、この価値をみんなで認めていく必要があります。

里地里山保全活動コンテスト

里地里山の先進的な保全活動を広く紹介することによって、全国の保全活動を推進することを目指し、環境省と読売新聞社は、平成16年6月「日本の里地里山30 - 保全活動コンテスト -」を開催しました。多くの応募の中から、以下の30団体が選ばれました。
(里地ネットワークHP: <http://satochi.net/30/>)



土地の確保

地域指定による行為規制
緑地保全地区、都道府県自然環境保全地域等
土地の買上げ・トラスト
税制措置

管理の担い手確保

市民・NPO等の参画
管理協定、市民ボランティア、オーナー制度等
管理のための奨励金・直接支払い
地域づくり



普及啓発・環境学習

体験教室・エコツーリズム等

里地里山管理・技術研究等

里地里山保全再生モデル事業

環境省では、平成16年度から全国4地域で里地里山保全再生のモデル事業を開始しました(右図)。

今後、これらの地域では関係省庁(農林水産省、林野庁、国土交通省)・地元自治体、NPO、住民、専門家などと連携・協力して、里地里山保全再生のための「地域戦略」を作ります。そして、保全再生のモデル事業(たとえば落葉かき、タケ除去などの実践、活動拠点と体制の確立、ピオトープなどの整備、環境学習活動の実践など)を進め、これらの取り組みを広く発信することによって、全国の里地里山保全再生活動を促進していく予定です。



里地里山保全再生モデル事業地域

